

大学番号：私303

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：学部学科の設置

注1

認可

安田女子大学 看護学部 看護学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 安田学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 庶務課長・^{キシダ}喜志多 ^{ヒロヤス}宏和

電話番号 082-878-8112

（夜間） 082-878-8112

F A X 082-872-2896

e-mail syomu.box@yasuda-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 安田学園

(2) 大学名

安田女子大学

(3) 大学の位置

〒731-0153

広島県広島市安佐南区安東六丁目13番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤスダ ヒロミ) 安田 裕実 (平成20年4月1日)		
学長	(セヤマ トシオ) 瀬山 敏雄 (平成22年4月1日)		
学部長	(フジムラ キンゴ) 藤村 欣吾 (平成26年4月1日)		
学科長等	(モリカワ チヅコ) 森川 千鶴子 (平成26年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	120人	0人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	120人 (-) [-]	- (-) [-]	120人 (-) [-]	- (-) [-]	0.97倍	倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	444 (-) [-]	- (-) [-]	554 (-) [-]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	367 (-) [-]	- (-) [-]	526 (-) [-]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	201 (-) [-]	- (-) [-]	289 (-) [-]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	103 (-) [-]	- (-) [-]	132 (-) [-]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.85		1.1				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					[-] (-) 103	[-] (-)	[-] (-) 133	[-] (-)	
2年次							[-] (-) 103	[-] (-)	
3年次									
4年次									
計	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-) 103	[-] (-)	[-] (-) 236	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	103 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	133 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	236 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
特別科目	まほろば教養ゼミⅠ	1通	1			4	5	1	2	6		通年 専任教員の退職(27)		
	まほろば教養ゼミⅡ	2通	1			4	5	1	2	6		通年 専任教員の退職(27)		
	まほろば教養ゼミⅢ	3通	1			4	5	1	2	6		通年 専任教員の退職(27)		
	まほろば教養ゼミⅣ	4通	1			4	5	1	2	6		通年 専任教員の退職(27)		
共通教育科目	キャリア教育科目	キャリアデザインⅠ	1前後		2							兼	1	
		キャリアデザインⅡ	2後		2							兼	1	
		ボランティア活動	1・2後		2							兼	1	
		インターンシップ	3前		2							兼	1	
		職と食ーパティシエ実習	1・2・3・4後		1							兼	1	
	人間理解	人間論A	1・2・3・4		2		1						兼	2
		人間論B	1・2・3・4		2		1						兼	1
		こころの科学A	1・2・3・4		2								兼	3
		こころの科学B	1・2・3・4		2								兼	3
		からだの科学A	1・2・3・4		2								兼	1
		からだの科学B	1・2・3・4		2								兼	1
		からだの科学C	1・2・3・4		2		1						兼	1
		人間形成の科学A	1・2・3・4		2								兼	2
		人間形成の科学B	1・2・3・4		2								兼	1
		ことばの世界A	1・2・3・4		2								兼	1
		ことばの世界B	1・2・3・4		2								兼	3
		日本の文学A	1・2・3・4		2								兼	1
		日本の文学B	1・2・3・4		2								兼	2
		世界の文学A	1・2・3・4		2								兼	2
		世界の文学B	1・2・3・4		2								兼	4
	芸術A	1・2・3・4		2								兼	2	
	芸術B	1・2・3・4		2								兼	2	
	社会理解	現代社会と人間A	1・2・3・4		2								兼	3
		現代社会と人間B	1・2・3・4		2		1						兼	4
		21世紀の社会と法A (日本国憲法)	1・2・3・4		2								兼	1
		21世紀の社会と法B	1・2・3・4		2								兼	1
		21世紀の経済A	1・2・3・4		2								兼	1
		21世紀の経済B	1・2・3・4		2								兼	1
		現代のビジネスA	1・2・3・4		2								兼	3
		現代のビジネスB	1・2・3・4		2								兼	2
		現代社会と政治A	1・2・3・4		2								兼	1
	現代社会と政治B	1・2・3・4		2								兼	1	
	国際理解	異文化理解A	1・2・3・4		2								兼	4
異文化理解B		1・2・3・4		2								兼	3	
日本の歴史と文化A		1・2・3・4		2								兼	2	
国際理解	日本の歴史と文化B	1・2・3・4		2								兼	1	
	世界の歴史と文化A	1・2・3・4		2								兼	1	
	世界の歴史と文化B	1・2・3・4		2								兼	1	
	国際協力A	1・2・3・4		2								兼	1	
	国際協力B	1・2・3・4		2								兼	2	
国際理解	数学の世界	1・2・3・4		2								兼	1	
	自然科学の世界A	1・2・3・4		2								兼	2	

教養科目	科学技術理解	自然科学の世界B	1・2・3・4	2					兼	3		
		自然科学の世界C	1・2・3・4	2					兼	3		
		生命の科学A	1・2・3・4	2		1			兼	4		
		生命の科学B	1・2・3・4	2					兼	2		
		生命の科学C	1・2・3・4	2					兼	1		
		環境の科学A	1・2・3・4	2					兼	1		
		環境の科学B	1・2・3・4	2					兼	2		
		生活の科学A	1・2・3・4	2					兼	5		
		生活の科学B	1・2・3・4	2					兼	6		
		情報の科学	1・2・3・4	2					兼	4		
共通教育科目	情報処理科目	情報処理基礎Ⅰ	1前	1					兼	3		
		情報処理基礎Ⅱ	1前	1					兼	4		
		情報処理基礎Ⅲ	1後	1					兼	3		
		情報処理基礎Ⅳ	1後	1					兼	3		
		情報処理演習A	2前	1					兼	3		
		情報処理演習B	2後	1					兼	1		
		情報処理演習C	3前	1					兼	1		
		情報処理演習D	3後	1					兼	1		
共通教育科目	健康スポーツ科目	健康スポーツA	1・2・3・4	1					兼	1		
		健康スポーツB	1・2・3・4前	1					兼	3		
		健康スポーツC	1・2・3・4後	1					兼	3		
		健康スポーツD	1・2・3・4後	1					兼	1	集中	
		野外活動	1・2・3・4前	2					兼	1	集中	
共通教育科目	基礎科目	英語リーディングⅠ	2前	1					兼	2		
		英語リーディングⅡ	2後	1					兼	2		
		英語ライティングⅠ	2前	1					兼	3		
		英語ライティングⅡ	2後	1					兼	3		
		英語コミュニケーションⅠ	1前	1					兼	6		
		英語コミュニケーションⅡ	1前	1					兼	6		
		英語コミュニケーションⅢ	1後	1					兼	6		
		英語コミュニケーションⅣ	1後	1					兼	6		
		フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1					兼	1		
		フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1					兼	1		
		フランス語コミュニケーションⅢ	2前	1					兼	1		
		フランス語コミュニケーションⅣ	2後	1					兼	1		
		中国語コミュニケーションⅠ	1前	1					兼	2		
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1					兼	2		
		中国語コミュニケーションⅢ	2前	1					兼	2		
		中国語コミュニケーションⅣ	2後	1					兼	2		
アメリカ文化語学演習	1・2・3後	2						兼	1	集中		
共通教育科目	外国語科目	ニュージーランド文化語学演習	1・2・3後	2					兼	1	集中	
		中国文化語学演習	1・2・3・4前	2					兼	1	集中	
	基礎科目	基礎養成科目	基礎国語演習	1前後	1					兼	1	
			基礎社会演習	1前後	1					兼	1	
			基礎数学演習	1前後	1					兼	1	
			基礎理科演習	1後	1					兼	1	
			基礎生物演習	1前	1					兼	1	
			基礎化学演習	1前	1				1	兼	1	
			基礎物理演習	1前	1					兼	1	
			共通教育科目	人体の構造と機能	機能形態学Ⅰ	1前	2					兼
機能形態学Ⅱ	1後	2							兼	2	オムニバス	
機能形態学Ⅲ	2前	2							兼	2	オムニバス	
生化学	1前	2							兼	2		
免疫学	2後	2					1		兼	1		
栄養学	1前	2					兼	2				

専門教育科目	専門基礎分野	ヒトの遺伝学	2後		2								兼	1	
		病理病態学	2前	2			1							兼	1
		微生物学・感染症学	2前		2		1							兼	1
		薬理学	2前		2									兼	2
		疾病論Ⅰ	1前	2			1							兼	2 オムニバス
		疾病論Ⅱ	1後	2			2							兼	2 オムニバス
		疾病論Ⅲ	2前	2			2							兼	1 オムニバス
		疾病論Ⅳ	2後	2			2							兼	1 オムニバス
	社会福祉概論 保健医療福祉行政論 疫学 保健統計学	社会福祉概論	2前		2					1				兼	1
		保健医療福祉行政論	2後	2			1							兼	1
		疫学	2前	2			1							兼	1
		保健統計学	2前	2			1							兼	1
	専門分野Ⅰ	基礎看護学概論Ⅰ	1前	2			2								
		基礎看護学概論Ⅱ	1後	2			2								
看護過程論		2前	2			2									
生活援助方法論Ⅰ		1前	2			2		2	1						
生活援助方法論Ⅱ		1後	2			2		2	1						
カウンセリング論		2後		2									兼	1	
発達心理学Ⅰ		1後		2									兼	1	
発達心理学Ⅱ		2前		2									兼	1	
発達心理学Ⅲ		2前		2									兼	1	
医療心理学	2後		2									兼	1		
専門分野Ⅱ	成人看護学	2後	2			1	1								
	成人看護方法論Ⅰ（急性期）	3前	2			1	1	3	1						
	成人看護方法論Ⅱ（慢性期）	3前	2			1	1	3	1						
	高齢者看護学	2後	2			1		1							
	高齢者看護方法論	3前	2			1		2	0 ↓					専任教員の退職(27)	
	小児看護学	2後	2			1		2							
	小児看護方法論	3前	2			1		3							
	母性看護学	2後	2			1 2	2 ↑							オムニバス 専任教員就任辞退のため(26) 専任教員の採用(27)	
	母性看護方法論	3前	2			1 2	2 ↑		1					専任教員就任辞退のため(26) 専任教員の採用(27)	
	精神看護学	2後	2			1	1								
精神看護方法論	3前	2			1	1	1	1							
統合分野	在宅看護学	2後	2			1	↓							専任教員の退職(27)	
	在宅看護方法論	3前	2			1	↓	1	2					専任教員の退職(27)	
	救命救急看護論	4後		2		1	1								
専門教育科目	統合分野	障害児・者ケア論	2前		2		1		2						
		リハビリテーション看護論	4後		2		2		1						
		ターミナルケア論	4後		2		2								
		医療・看護倫理学	4後	2			2								
		看護管理学	4前	1			1	1	1						
		看護教育学	4前		1				1	1					
		公衆衛生看護学	3前		2		2	↑							オムニバス 専任教員の退職(27)
		公衆衛生看護管理・活動論	3前		2		1	↑	1						オムニバス 専任教員の退職(27)
		国際看護論	2前	2			1								
		国際交流・実践	2前		2		2	↓							集中 専任教員の採用(27)
		総合看護学演習Ⅰ	4前	2			11	3 4	2						専任教員の退職(27)
	総合看護学演習Ⅱ	4後	2			11	3 4	2						専任教員の退職(27)	
分野Ⅰ 専門	基礎看護学臨地実習Ⅰ	1前	1			2	1	2	1					専任教員の採用(27)	
	基礎看護学臨地実習Ⅱ	1後	2			2	1	2	1					専任教員の採用(27)	
	成人看護学臨地実習Ⅰ（慢性期）	3後	2			1	1	3	1	4					
成人看護学臨地実習Ⅱ（急性期）	3後	2			1	1	3	1	4						

臨地実習	専門分野II	成人看護学臨地実習Ⅲ（急性期）	3後	2		1	1	3	1	4		
		高齢者看護学臨地実習Ⅰ（慢性期）	3後	2		1		2	+	2	専任教員の退職(27)	
		高齢者看護学臨地実習Ⅱ（回復・リ）	3後	2		1		2	+	2	専任教員の退職(27)	
		小児看護学臨地実習	3後	2		1		3				
		母性看護学臨地実習	3後	2		2	2	+		1	2	専任教員の採用(27)
		精神看護学臨地実習	3後	2		1	1		1	1	1	
分統 野合	在宅看護学臨地実習	3後	2		1	+	1	2			専任教員の退職(27)	
	看護の統合と実践臨地実習	4前	2		2	3	4	12	5	6	専任教員の退職(27)	
保健師科目	公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	4通		2	1	+			2	1	専任教員の退職(27)	
	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	4通		3	1	+			2	1	専任教員の退職(27)	
助産師科目	助産学概論	4前		2	1	2	1				オムニバス	
	周産母子看護論	4前		1	1	2	1				オムニバス	
	助産診断技術学Ⅰ	4前		2	1		1				オムニバス	
	助産診断技術学Ⅱ	4前		2	+	2	+				オムニバス 専任教員の採用(27)	
	助産診断技術学演習	4前		2	1	2	+				専任教員の採用(27)	
	助産管理	4前		1	+		1				専任教員の採用(27)	
	助産学実習Ⅰ	4通		2		2	+			2	専任教員の採用(27)	
	助産学実習Ⅱ	4通		5		2	+			2	専任教員の採用(27)	
助産学実習Ⅲ	4通		2		2	+			2	専任教員の採用(27)		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
49	123	0	172	49	123	0	172	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	安田女子短期大学と共用 校舎敷地面積見直しと地籍更生等により修正が必要になったため(26)			
	校舎敷地	0㎡	106,555 106,765㎡	0㎡	106,555 106,765㎡				
	運動場用地	0㎡	24,106㎡	0㎡	24,106㎡				
	小 計	0㎡	130,661 130,871㎡	0㎡	130,661 130,871㎡				
	そ の 他	0㎡	4,082 4,101㎡	0㎡	4,082 4,101㎡				
	合 計	0㎡	134,743 134,972㎡	0㎡	134,743 134,972㎡				
(2) 校 舎	専 用	14,801.27 12,665.73 21,572.71㎡	62,022.02 69,768.22 48,680.66㎡	0㎡	76,823.29 82,433.95 70,253.37㎡	安田女子短期大学と共用 校舎建て替えのため(26) 校舎建て替えのため(27)			
		(21,572.71㎡)	(48,680.66 ㎡)	(0㎡)	(70,253.37㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	61 89 68室	14 13 12室	143 141 129室	4 6 8室 (補助職員 8人)	大学全体 校舎建て替えのため(26) 校舎建て替えのため(27)			
	演 習 室				語学学習施設 3室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	看護学部 看護学科		38 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体では、図書294,353冊うち外国書が54,331冊、学術雑誌2,051種うち外国書が281種ある。 大学全体で図書301,809[54,963]冊 購入により充実(27)	
	看護学部 看護学科	11,777 [2,203] (1,837 [531]) 11,777 [2,203]-	497 [436] 86 [10] (497 [436]) 86 [10]-	436 [436] 0 [0] (436 [436]) 0 [0]-	139 (35 139)	0 (0)	0 (0)		
	計	11,777 [2,203] (1,837 [531]) 11,777 [2,203]-	497 [436] 86 [10] (497 [436]) 86 [10]-	436 [436] 0 [0] (436 [436]) 0 [0]-	139 (35 139)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	4,218㎡		450席		330,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	1,937㎡		テニスコート		弓道場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体
		教員1人当り研究費等	460千円	460千円	図書購入費	3,500千円	3,500千円	3,500千円	
		共同研究費等	3,052千円	3,052千円	設備購入費	3,500千円	3,500千円	3,500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,760千円	1,530千円	1,530千円	1,530千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		各年度の手数料収入、資産運用収入、雑収入等をこれに充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	安田女子大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入 学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 度	設 度	所 在 地		
大学	年	人	年次 人	人		倍					
文学部			3年次			1.07					
日本文学科	4	90	1	362	学士(文学)	1.10	昭和41年度			日本文学専攻、書道文化専攻平成23年より学生募集停止	
書道学科	4	30	1	122	学士(文学)	0.95	平成23年度				
英語英米文学科	4	110	2	444	学士(文学)	1.08	昭和41年度			英語英米文学科は平成23年度より入学定員120人から110人に減員	
児童教育学科	4	—	—	—	学士(文学)	1.03	昭和50年度			児童教育学科は平成24年度より学生募集停止	
教育学部			3年次			1.12			広島市 安佐南区 安東 六丁目 13番 1号		
児童教育学科	4	110	10	460	学士(教育学)	1.12	平成24年度				
心理学部			3年次			1.06					
心理学科	4	90	2	364	学士(心理学)	1.06	平成24年度				
現代ビジネス学部			3年次			1.11					
現代ビジネス学科	4	120	2	484	学士(現代ビジネス学)	1.10	平成15年度			現代ビジネス学科は平成24年より110人から120人に増員	
国際観光ビジネス学科	4	60	1	60		1.28	平成27年度				
家政学部			3年次			1.04					
生活デザイン学科	4	105	2	424	学士(家政学)	1.10	平成16年度			生活デザイン学科は入学定員平成23年度90人より100人、平成24年度より100人から105人に増員	
管理栄養学科	4	120	—	480	学士(家政学)	0.98	平成16年度			管理栄養学科は平成25年度より入学定員80人から120人に増員	
薬学部						0.70					
薬学科	6	120	—	720	学士(薬学)	0.70	平成19年度			薬学部薬学科は平成24年度より入学定員130人から120人に減員	

平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	フジノ ヒロコ 藤村 欣吾 (72)	平成26年4月	人間論B 病理病態学 疾病論Ⅱ※ 疾病論Ⅲ※ 疾病論Ⅳ※						
専	教授	モリカワ フミコ 森川 千鶴子 (66)	平成26年4月	現代社会と人間B 高齢者看護学 高齢者看護方法論 ターミナルケア論 医療・看護倫理学 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 高齢者看護学臨床実習Ⅰ(慢性期) 高齢者看護学臨床実習Ⅱ(回復・リハビリ期)						
専	教授	テラノ サチ 寺岡 幸子 (67)	平成26年4月	基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程論 生活援助方法論Ⅰ 生活援助方法論Ⅱ 医療・看護倫理学 看護管理学 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 基礎看護学臨床実習Ⅰ 基礎看護学臨床実習Ⅱ						
専	教授	トシカ ヒロキ 富岡 治明 (66)	平成26年4月	生命の科学A 免疫学 微生物学・感染症学 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ						
専	教授	イノエ ノリコ 田村 典子 (66)	平成26年4月	人間論A 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程論 生活援助方法論Ⅰ 生活援助方法論Ⅱ 国際交流・実践 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 基礎看護学臨床実習Ⅰ 基礎看護学臨床実習Ⅱ						
専	教授	ササキ ユキ 佐々木 百合子 (66)	平成26年4月	母性看護学※ 母性看護方法論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 母性看護学臨床実習 助産学概論※ 周産母子看護論※ 助産診断技術学Ⅱ※ 助産診断技術学演習 助産管理	専	准教授	ツマ フミコ 津間 文子 (54)	平成27年4月	母性看護学※ 母性看護方法論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 母性看護学臨床実習 周産母子看護論※ 助産診断技術学Ⅱ※ 助産診断技術学演習 助産管理 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 助産学実習Ⅲ 基礎看護学臨床実習Ⅰ 基礎看護学臨床実習Ⅱ	平成26年3月 佐々木教授は一身上の都合により就任辞退。「後任未定」平成27年4月から専任教員採用予定で進めている。 (26) 平成27年4月 新規採用 平成26年9月教員審査済み(27)
専	教授	アカシ マコト 赤星 誠 (65)	平成28年4月	からだの科学C 精神看護学 精神看護方法論 リハビリテーション看護論※ 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 精神看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習						
兼任	講師	アカシ マコト 赤星 誠 (64)	平成27年4月	精神看護学						

専	教授	マホロバ ケイコ 坪井 敬子 (60)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 成人看護学 成人看護方法論Ⅰ(急性期) 成人看護方法論Ⅱ(慢性期) 救命救急看護論 リハビリテーション看護論※ ターミナルケア論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 成人看護学臨床実習Ⅰ (慢性期) 成人看護学臨床実習Ⅱ (急性期) 成人看護学臨床実習Ⅲ (急性期)						
専	教授	キタガワ カホル 北川 かほる (60)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 小児看護学 小児看護方法論 障害児・者ケア論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 小児看護学臨床実習					平成27年3月一身上の都合により退職(27)	
専	教授	ヒラカ ケイコ 平岡 敬子 (58)	平成28年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 母性看護学※ 母性看護方法論 国際看護論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 母性看護学臨床実習 助産学概論※ 周産母子看護論※ 助産診断技術学Ⅰ※ 助産診断技術学演習	専	教授	ヒラカ ケイコ 平岡 敬子 (58)	平成27年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 母性看護学※ 母性看護方法論 国際看護論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 母性看護学臨床実習 助産学概論※ 周産母子看護論※ 助産診断技術学Ⅰ※ 助産診断技術学演習 母性看護学※ 国際看護論 国際交流・実践	平成26年4月 就任年月の変更(26) 平成27年4月 担当科目の追加 平成27年1月教員審査済(27)
兼任	講師	ヒラカ ケイコ 平岡 敬子 (57)	平成27年4月	母性看護学※ 国際看護論						
専	教授	ナガノ ケイコ 永井 真由美 (56)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 保健医療福祉行政論 在宅看護学 在宅看護方法論 公衆衛生看護学※ 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 在宅看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習						
専	教授	カタヤマ ケイコ 片山 恵子 (52)	平成27年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 疾病論Ⅰ※ 疾病論Ⅱ※ 疾病論Ⅲ※ 疾病論Ⅳ※ 疫学 保健統計学 公衆衛生看護学※ 公衆衛生看護管理・活動論※ 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 公衆衛生看護学臨床実習Ⅰ 公衆衛生看護学臨床実習Ⅱ						
兼任	講師	カタヤマ ケイコ 片山 恵子 (51)	平成26年4月	疾病論Ⅰ※ 疾病論Ⅱ※						
専	准教授	キノシタ ヤス子 木下 八重子 (68)	平成27年4月	精神看護学 精神看護方法論 看護管理学 看護教育学 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 精神看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習						

専	准教授	サカミノ 貞岡 美伸 (52)	平成26年4月	母性看護学※ 母性看護方法論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 母性看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習 助産診断技術学Ⅰ※ 助産診断技術学Ⅱ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 助産学実習Ⅲ	専	准教授	サカミノ 貞岡 美伸 (52)	平成26年4月	母性看護学※ 母性看護方法論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 母性看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習 助産診断技術学Ⅰ※ 助産診断技術学Ⅱ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 助産学実習Ⅲ 助産学概論	平成27年4月 担当科目の追加 平成26年9月教員審査済(27)
専	准教授	ミヅウキ 水内 恵子 (49)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 成人看護学 成人看護方法論Ⅰ(急性期) 成人看護方法論Ⅱ(慢性期) 救命救急看護論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 成人看護学臨床実習Ⅰ(慢性期) 成人看護学臨床実習Ⅱ(急性期) 成人看護学臨床実習Ⅲ(急性期) 看護の統合と実践臨床実習						
専	准教授	スザキ 洲崎 好香 (47)	平成27年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 在宅看護学 在宅看護方法論 公衆衛生看護学※ 公衆衛生看護管理・活動論※ 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 在宅看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習 公衆衛生看護学臨床実習Ⅰ 公衆衛生看護学臨床実習Ⅱ	専	准教授	スザキ 洲崎 好香 (47)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 在宅看護学 在宅看護方法論 公衆衛生看護学※ 公衆衛生看護管理・活動論※ 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 在宅看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習 公衆衛生看護学臨床実習Ⅰ 公衆衛生看護学臨床実習Ⅱ	平成26年4月 就任年月の変更(26) 平成27年度3月 一身上の都合により退職(27)
専	講師	イノ 田村 美子 (54)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 小児看護学 小児看護方法論 障害児・者ケア論 看護管理学 看護教育学 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 小児看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習						
専	講師	イノ 出田 聡子 (53)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 小児看護学 小児看護方法論 障害児・者ケア論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 小児看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習						
専	講師	イノ 井場 ヒロ子 (65)	平成26年10月	高齢者看護学 高齢者看護方法論 高齢者看護学臨床実習Ⅰ(慢性期) 高齢者看護学臨床実習Ⅱ(回復・リハビリ期) 看護の統合と実践臨床実習						
専	講師	フジ 藤永 正枝 (64)	平成26年4月	成人看護方法論Ⅰ(急性期) 成人看護方法論Ⅱ(慢性期) 成人看護学臨床実習Ⅰ(慢性期) 成人看護学臨床実習Ⅱ(急性期) 成人看護学臨床実習Ⅲ(急性期) 看護の統合と実践臨床実習						

専	講師	かへし みづ 川元 美津子 (60)	平成26年4月	生活援助方法論Ⅰ 生活援助方法論Ⅱ 基礎看護学臨床実習Ⅰ 基礎看護学臨床実習Ⅱ 看護の統合と実践臨床実習						
専	講師	いづな けいこ 盆子原 イツ子 (60)	平成26年4月	成人看護方法論Ⅰ(慢性期) 成人看護方法論Ⅱ(慢性期) 成人看護学臨床実習Ⅰ(慢性期) 成人看護学臨床実習Ⅱ(急性期) 成人看護学臨床実習Ⅲ(急性期) 看護の統合と実践臨床実習						
専	講師	おほし みか 大原 美香 (55)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 小児看護方法論 小児看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習						
専	講師	はら けいこ 原 邦子 (55)	平成28年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 精神看護方法論 精神看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習						
専	講師	こむら ともこ 小園 由味恵 (54)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 高齢者看護方法論 リハビリテーション看護論※ 高齢者看護学臨床実習Ⅰ(慢性期) 高齢者看護学臨床実習Ⅱ(回復・リハビリ期) 看護の統合と実践臨床実習						
専	講師	いづみ けいこ 今井 多樹子 (45)	平成28年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 生活援助方法論Ⅰ 生活援助方法論Ⅱ 基礎看護学臨床実習Ⅰ 基礎看護学臨床実習Ⅱ 看護の統合と実践臨床実習						
専	講師	やまの けいこ 山下 麻紀 (37)	平成26年4月	成人看護方法論Ⅰ(急性期) 成人看護方法論Ⅱ(慢性期) 成人看護学臨床実習Ⅰ(慢性期) 成人看護学臨床実習Ⅱ(急性期) 成人看護学臨床実習Ⅲ(急性期) 看護の統合と実践臨床実習						
専	助教	うらむら けいこ 上村 千鶴 (54)	平成26年4月	生活援助方法論Ⅰ 生活援助方法論Ⅱ 基礎看護学臨床実習Ⅰ 基礎看護学臨床実習Ⅱ 看護の統合と実践臨床実習						
専	助教	こぐち けいこ 兒島 佳子 (49)	平成26年4月	母性看護方法論 在宅看護方法論 母性看護学臨床実習 在宅看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習 公衆衛生看護学臨床実習Ⅰ 公衆衛生看護学臨床実習Ⅱ						
専	助教	しん けいこ 堀 由起子 (48)	平成28年4月	成人看護方法論Ⅰ(急性期) 成人看護方法論Ⅱ(慢性期) 成人看護学臨床実習Ⅰ(慢性期) 成人看護学臨床実習Ⅱ(急性期) 成人看護学臨床実習Ⅲ(急性期) 看護の統合と実践臨床実習						
専	助教	あらい けいこ 菅井 敏行 (42)	平成28年4月	基礎化学演習 社会福祉概論 在宅看護方法論 在宅看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習 公衆衛生看護学臨床実習Ⅰ 公衆衛生看護学臨床実習Ⅱ						
専	助教	もりた けいこ 森本 久美 (40)	平成28年4月	高齢者看護方法論 高齢者看護学臨床実習Ⅰ(慢性期) 高齢者看護学臨床実習Ⅱ(回復・リハビリ期) 看護の統合と実践臨床実習						平成27年3月 一身上の都合により就任辞退。「後任未定」平成28年4月から専任教員採用予定で進めている。(27)

専	助教	フジワ ミリ 藤原 みのり (34)	平成27年4月	精神看護方法論 精神看護学臨床実習 看護の統合と実践臨床実習							
					専	講師	ハシダ 紗利 林田 馨 (40)	平成27年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 在宅看護方法論 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 看護の統合と実践臨床実習 在宅看護学臨床実習 公衆衛生看護学臨床実習Ⅰ 公衆衛生看護学臨床実習Ⅱ 基礎看護学臨床実習Ⅰ 基礎看護学臨床実習Ⅱ 公衆衛生看護学(予定) 公衆衛生看護管理・活動論(予定)	平成27年4月教員の新規採用 平成26年9月教員審査済(27) 平成27年4月 担当科目の追加 平成27年4月変更書提出済(27)	
					専	教授	タカミ 美由紀 高瀬 美由紀 (46)	平成27年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程論 生活援助方法論Ⅰ 生活援助方法論Ⅱ 医療・看護倫理学 看護管理学 総合看護学演習Ⅰ 総合看護学演習Ⅱ 基礎看護学臨床実習Ⅰ 基礎看護学臨床実習Ⅱ 看護の統合と実践臨床実習	平成27年4月教員の新規採用 平成27年4月変更書提出済(27)	

<共通>

設置時の計画					変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
兼担	教授	フジワ 健治 (72)	平成26年4月	環境の科学A						平成26年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(26)
兼担	教授	ツシ ヒロシ 辻 秀典 (71)	平成26年4月	21世紀の社会と法A(日本憲法) 21世紀の社会と法B						
兼担	教授	イワノ エイジ 岩本 悦郎 (70)	平成26年4月	自然科学の世界B 基礎化学演習						平成26年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(26)
兼担	教授	シロギ 英明 (69)	平成26年4月	現代のビジネスB	兼担	教授	タケノチ 益司 (53)	平成27年4月	現代のビジネスB	平成27年3月塩崎教授退職 により担当者変更(27)
兼担	教授	カミ 千晃 (69)	平成26年4月	自然科学の世界C 薬理学						
兼担	教授	ドウノ 恵子 (69)	平成27年4月	発達心理学Ⅱ						
兼担	教授	スズキ 幸夫 (68)	平成26年4月	日本の歴史と文化A						
兼担	教授	カシマ 康彦 (68)	平成26年4月	世界の文学B						
兼担	教授	ナカガワ 憲 (67)	平成26年4月	世界の文学B						
兼担	教授	イワノ 佳子 (67)	平成26年4月	生活の科学A						平成27年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼担	教授	カネガキ 俊信 (66)	平成26年4月	人間論A						

兼担	教授	フナモリ 船津 守久 (66)	平成26年4月	こころの科学B							
兼担	教授	ヤマノ 山内 一晃 (66)	平成26年4月	生活の科学B							
兼担	教授	ムラノ 村上 文代 (66)	平成26年4月	生活の科学B							
兼担	教授	オオノ 大塚 英昭 (66)	平成26年4月	自然科学の世界C							
兼担	教授	ササキ 佐々木 英夫 (66)	平成26年4月	からだの科学C 疾病論Ⅱ※ 疾病論Ⅲ※ 保健医療福祉行政論 疫学 保健統計学							
兼担	教授	ニシダ 西田 信子 (66)	平成26年4月	生活の科学B							
兼担	教授	タマキ 玉田 健二 (65)	平成26年4月	世界の文学B フランス語コミュニケーションI フランス語コミュニケーションII フランス語コミュニケーションIII フランス語コミュニケーションIV							
兼担	教授	スミタ 楠 幹江 (65)	平成26年4月	生活の科学A							
兼担	教授	タカハシ 高田 清 (66)	平成26年4月	人間形成の科学A							
兼担	教授	ノグチ 萩 福雄 (64)	平成26年4月	世界の文学A 芸術B							
兼担	教授	エグチ 江口 公治 (64)	平成26年4月	自然科学の世界A 基礎理科演習 基礎物理演習							
兼担	教授	フジノ 藤沢 敏幸 (64)	平成26年4月	こころの科学B							
兼担	教授	アライ 栗村 真久 (64)	平成26年4月	芸術A	兼任	講師	アライ 栗村 真久 (64)	平成26年4月	芸術A	平成27年4月 人事異動により兼任講師(27)	
兼担	教授	フジモト 藤本 和男 (62)	平成26年4月	生活の科学B							
兼担	教授	モリタ 森田 泰博 (62)	平成26年4月	生命の科学A 機能形態学Ⅰ※ 機能形態学Ⅲ※							
兼担	教授	マツカ 松岡 博信 (61)	平成26年4月	ことばの世界B							
兼担	教授	カトリ 加藤 敏之 (60)	平成26年4月	こころの科学A							
兼担	教授	オノ 折本 浩一 (60)	平成26年4月	ボランティア活動 健康スポーツA 健康スポーツD 野外活動							

兼担	教授	アカシ リコ 赤木 玲子 (60)	平成26年4月	からだの科学B 生化学						
兼担	教授	イワノ タカキ 岩田 高明 (59)	平成26年4月	人間形成の科学A						
兼担	教授	オオタ イコ 大下 市子 (59)	平成26年4月	生活の科学B						
兼担	教授	トリイ マコ 鳥井 葉子 (59)	平成26年4月	生活の科学A						
兼担	教授	イノエ ナギ 井上 幸江 (59)	平成26年4月	生命の科学C						
兼担	教授	モリカワ アンセン 森岡 文泉 (58)	平成26年4月	現代社会と人間A 現代社会と人間B 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ						
兼担	教授	ハコガミ マサキ 箱田 雅之 (58)	平成26年4月	生命の科学B 疾病論Ⅰ※ 疾病論Ⅱ※ 疾病論Ⅳ※						
兼担	教授	フジノ マサキ 藤村 猛 (57)	平成26年4月	日本の文学B						
兼担	教授	アヲキ ジュンコ 青木 順子 (57)	平成26年4月	異文化理解B						
兼担	教授	サキタ ヒロユキ 坪本 一雄 (57)	平成26年4月	現代のビジネスB						
兼担	教授	トモエ リョウカ 友来 亮三 (57)	平成26年4月	からだの科学A 健康スポーツB 健康スポーツC						
兼担	教授	キノト キンヂ 森本 金次郎 (57)	平成26年4月	生命の科学A 免疫学						
兼担	教授	アヲキ カズト 青木 克仁 (56)	平成26年4月	人間論B 国際協力A 国際協力B						
兼担	教授	イノカ マサキ 生中 雅也 (56)	平成26年4月	自然科学の世界A						
兼担	教授	ニシ ヒロキ 西 博行 (56)	平成26年4月	自然科学の世界B						
兼担	教授	フジノ ユキ 藤原 逸樹 (55)	平成26年4月	芸術A						
兼担	教授	シロカ シンイチ 染岡 慎一 (55)	平成26年4月	情報の科学						
兼担	教授	ハシモト マサキ 橋本 正継 (54)	平成26年4月	数学の世界						

兼担	教授	材料マ シヒコ 大山 義彦 (54)	平成26年4月	自然科学の世界B						
兼担	教授	息込 ソウイチロウ 田村 聡一郎 (54)	平成26年4月	情報の科学 情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅳ						
兼担	教授	コウチ ケイタ 高口 圭輔 (53)	平成26年4月	ことばの世界B						
兼担	教授	サワグ ヒロミ 澤田 英三 (53)	平成26年4月	発達心理学Ⅰ						
兼担	教授	トイ ナコ 戸井 佳奈子 (53)	平成26年4月	21世紀の経済A 現代のビジネスA 現代社会と政治A						
兼担	教授	ヤマダ アサヒロ 山下 明博 (53)	平成26年4月	インターナシッ 異文化理解B 国際協力B 情報処理基礎Ⅱ						
兼担	教授	フルヒ マサシ 古瀬 雅義 (51)	平成26年4月	日本の文学A						
兼担	准教授	ナカムラ セイゴ 中村 誠吾 (61)	平成26年4月	生活の科学B ニュージーランド文化語 学演習						
兼担	准教授	スズキ ジュンイチ 畑井 淳一 (60)	平成26年4月	異文化理解A						
兼担	准教授	ハシモト サトコ 濱本 サト子 (57)	平成26年4月	異文化理解A 英語ライティングⅠ 英語ライティングⅡ						
兼担	准教授	タナベ ナコ 田辺 尚子 (55)	平成26年4月	異文化理解A						
兼担	准教授	ウチノ イチヂ 内田 誠一 (54)	平成26年4月	世界の文学A						
兼担	准教授	ユサワ サトシ 湯澤 聡 (54)	平成26年4月	日本の歴史と文化B						平成26年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし (26)
兼担	准教授	サカイ ナカトシ 滝浪 常雄 (54)	平成26年4月	人間論A						平成27年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし (27)
兼担	准教授	タニグチ ナホコ 谷口 邦彦 (53)	平成26年4月	芸術B						
兼担	准教授	ニシムラ モトヒロ 西村 基弘 (52)	平成26年4月	生命の科学B 薬理学						
兼担	准教授	モリタ ノリキ 森田 規之 (50)	平成26年4月	機能形態学Ⅱ※						
兼担	准教授	ミナトシ テツヤ 富岸 哲也 (50)	平成26年4月	世界の歴史と文化A						
兼担	准教授	ミヤケ ヒロフミ 三宅 英文 (50)	平成26年4月	現代社会と人間A 英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ						

兼担	准教授	ニシ マユミ 西 まゆみ (50)	平成26年4月	現代社会と人間B カウンセリング論						
兼担	准教授	カワシ カツミ 川岸 克己 (49)	平成26年4月	ことばの世界A						
兼担	准教授	ニシガワ ヒロコ 西川 ひろ子 (48)	平成26年4月	人間形成の科学B						
兼担	准教授	ヤシロ トシノブ 八城 年伸 (48)	平成26年4月	情報の科学 情報処理基礎Ⅲ 情報処理演習A						
兼担	准教授	アサノ ヒロユキ 浅野 千恵 (48)	平成26年4月	生活の科学A						平成27年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし (27)
兼担	准教授	ニシハラ アキラ 西原 明史 (48)	平成26年4月	世界の歴史と文化B						
兼担	准教授	フクダ ヒロユキ 福垣 昌宣 (48)	平成26年4月	自然科学の世界C						
兼担	准教授	ガブリエリ リチアード R. R. P. Gabrielli (47)	平成26年4月	異文化理解A						
兼担	准教授	ヤマモト フミ 山本 文枝 (47)	平成26年4月	こころの科学B						
兼担	准教授	ヒラタ シノブ 平本 哲嗣 (45)	平成26年4月	現代社会と人間B						
兼担	准教授	ヤマカワ ケンイチ 山川 健一 (45)	平成26年4月	ことばの世界B 英語ライティングⅠ 英語ライティングⅡ						
兼担	准教授	カガタ アキコ 永田 彰子 (45)	平成26年4月	現代社会と人間B アメリカ文化語学演習						
兼担	准教授	ニシムラ ノブヒサ 西村 則久 (45)	平成26年4月	情報の科学 情報処理基礎Ⅰ 情報処理演習A						
兼担	准教授	ミヤカワ ヒロコ 宮川 博恵 (44)	平成26年4月	生活の科学A						
兼担	准教授	コシノベ ケンイチ 近藤 慎一 (44)	平成26年4月	生命の科学A						
兼担	准教授	オガワ マリ 小川 麻里 (42)	平成26年4月	環境の科学B						
兼担	准教授	シミズ ヒロアキ 清水 利朗 (42)	平成26年4月	微生物学・感染症学						
兼担	准教授	オガタキ ノブコ 小長谷 紀子 (52)	平成26年4月	栄養学						
兼担	講師	タマキ サチエ 玉井 幸恵 (56)	平成26年4月	生命の科学A	兼担	准教授	タマキ サチエ 玉井 幸恵 (56)	平成27年4月	生命の科学A	平成27年4月 准教授として昇格 (27)
兼担	講師	ヤチノヘ ヒロユキ 八木 秀文 (46)	平成26年4月	環境の科学B	兼担	准教授	ヤチノヘ ヒロユキ 八木 秀文 (46)	平成26年4月	環境の科学B	平成26年4月 准教授として昇格 (26)
兼担	講師	カワチ アキラ 河内 昭浩 (45)	平成26年4月	日本の文学B	兼担	准教授	カワチ アキラ 河内 昭浩 (45)	平成26年4月	日本の文学B	平成26年4月 准教授として昇格 (26) 平成27年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし (27)

兼任	講師	サック タラスアレクサンダー Sak Taras Alexander (42)	平成26年4月	世界の文学B	兼任	准教授	サック タラスアレクサンダー Sak Taras Alexander (42)	平成26年4月	世界の文学B	平成26年4月 准教授として昇格 (26)
兼任	講師	マヨシ ヒロ 又吉 弘那 (42)	平成26年4月	異文化理解B						平成26年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし (26)
兼任	講師	タカキ ヒロシ 高木 久史 (40)	平成26年4月	日本の歴史と文化A	兼任	准教授	タカキ ヒロシ 高木 久史 (40)	平成26年4月	日本の歴史と文化A	平成26年4月 准教授として昇格 (26)
兼任	講師	ヒロシ イ 平石 界 (40)	平成26年4月	こころの科学A 中国文化語学演習	兼任	准教授	ヒロシ イ 平石 界 (40)	平成26年4月	こころの科学A 中国文化語学演習	平成26年4月 准教授として昇格 (26) 平成27年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし (27)
兼任	講師	カミヤ ユキ 上手 由香 (35)	平成26年4月	こころの科学A						平成26年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし (26)
兼任	講師	サトウ ユウイチロウ 佐藤 雄一郎 (40)	平成26年4月	生化学						
兼任	講師	シライ ムツコ 白井 睦子 (39)	平成26年4月	栄養学						
兼任	助教	フジムラ ヒロ 藤村 香予 (46)	平成26年4月	英語ライティングⅠ 英語ライティングⅡ						平成26年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし (26)
兼任	助教	シノベ ユキ 先坊 幸子 (39)	平成26年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	カサキ マサヒコ 加藤 雅春 (64)	平成26年4月	基礎数学演習						
兼任	講師	タナカ ヒロシ 田中 秀利 (70)	平成26年4月	キャリアデザインⅠ	兼任	教授	ノノノ タケノ 野村 康則 (65)	平成26年4月	キャリアデザインⅠ	平成26年3月 田中講師が一身上の都合により退職 後任の担当者として野村教授の就任 (26)
兼任	講師	ニイ ヒロシ 仁井 和彦 (67)	平成26年4月	21世紀の経済B	兼任 兼任	教授 講師	ニイ ヒロシ 仁井 和彦 (67)	平成27年4月	21世紀の経済B	平成27年4月 人事異動により兼任教授 (27)
兼任	講師	オホノ エイコ 大下 英蔵 (65)	平成27年4月	キャリアデザインⅡ						
兼任	講師	モリタ キヨコ 門田 恭子 (52)	平成26年4月	現代のビジネスA	兼任 兼任	准教授 講師	モリタ キヨコ 門田 恭子 (52)	平成27年4月	現代のビジネスA	平成27年4月 人事異動により兼任准教授 (27)
兼任	講師	オオトモ ユキ 大友 達也 (47)	平成26年4月	現代社会と人間A						
兼任	講師	タチバナ トモ 立花 知香 (47)	平成26年4月	現代のビジネスA	兼任 兼任	准教授 講師	タチバナ トモ 立花 知香 (47)	平成27年4月	現代のビジネスA	平成27年4月 人事異動により兼任准教授 (27)
兼任	講師	ナカムラ リョウ 中村 涼 (46)	平成27年4月	発達心理学Ⅲ						
兼任	講師	サカグチ タカキ 坂口 琢哉 (37)	平成26年4月	情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ	兼任 兼任	准教授 講師	サカグチ タカキ 坂口 琢哉 (37)	平成26年4月	情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ	平成27年4月 人事異動により兼任准教授 (27)
兼任	講師	シノベ ユキ 柴 芳樹 (67)	平成26年4月	機能形態学Ⅰ※ 機能形態学Ⅱ※ 機能形態学Ⅲ※						
兼任	講師	ヤマモト シウ 山本 義雄 (73)	平成27年4月	ヒトの遺伝学						
兼任	講師	タナカ ユキ 田中 丈夫 (66)	平成26年4月	病理病態学 疾病論Ⅰ※	兼任	教授	タナカ ユキ 田中 丈夫 (66)	平成26年4月	病理病態学 疾病論Ⅰ※	平成26年4月 兼任教授として担当 (26)
兼任	講師	ヤマダ シュウジ 山田 修三 (63)	平成27年4月	社会福祉概論						

兼任	講師	クサシゲ ヒロミ 倉重 博史 (64)	平成26年4月	職と食-パティシエ実習						
兼任	講師	かたが かつり 亀川 和典 (54)	平成26年4月	現代社会と政治 B						
兼任	講師	くろ だいじ 久保 大支 (48)	平成26年4月	情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ 情報処理演習A 情報処理演習B 情報処理演習C 情報処理演習D						
兼任	講師	たが オ ちほ 瀬尾 智子 (52)	平成26年4月	健康スポーツB 健康スポーツC						
兼任	講師	いずみ マサリ 入澤 雅典 (52)	平成26年4月	健康スポーツB 健康スポーツC						平成26年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし (26)
兼任	講師	たかがわ コリコ 七ッ河 由里子 (40)	平成26年4月	英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ						
兼任	講師	たかた ユウ クリスティス 高口ユウ クリスティス (64)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	アンドリュースライトフット Andrew R.Lightfoot (47)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	カト シャーロット・ルイズ 中元 Charlotte Louise (42)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	ウィリアムズ デビッド Williams David (40)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	ジョン コール John Cole (49)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	スミス フローレンス ノブコ Smith Florence Nobuko (42)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	ミナ 幸枝 三島 幸枝 (67)	平成26年4月	基礎国語演習						
兼任	講師	シイキ かつこ 椎木 克彦 (73)	平成26年4月	基礎社会演習						
兼任	講師	サキ マミ 佐々木 真弓 (56)	平成26年4月	基礎生物演習						
兼任	講師	イハハ シュウイチ 磯部 修一 (61)	平成26年4月	医療心理学						

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に

所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成（前年度の状況）	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
12	4	12	6	34	10	4	11	2	27	教授63歳 准教授・講師60歳	10名	教授63歳 准教授・講師60歳	9名
(9)	(2)	(10)	(2)	(23)	[Δ2]	[0]	[Δ1]	[Δ4]	[Δ7]				

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成（前年度の状況）」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	北川かほる	平成27年3月 一身上の都合により退職(27)
2	准教授	洲崎 好香	平成27年3月 一身上の都合により退職(27)
3	助教	森本 久美	平成27年3月 一身上の都合により就任辞退(27)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(1)～(3)とも辞任に伴う開設授業科目は、他の教員が授業科目を担当することから、学生の履修等への影響はないと考えている。学生への周知については、履修手続のガイダンス等で担当者の変更等について説明している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>設 置 時 (平成25年12月)</p>	<p>・完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。</p> <p>改善意見</p>	<p>・完成年度前に定年規程（教授63歳、准教授・講師60歳）を超える専任教員は、教授8名、准教授1名、講師5名の計14名である。その割合は、就任予定教員の34名に対して比率は41%であり確かに高い。本学では、定年退職者の再雇用に関する規程が定められており、その中で特別任用職員就業規則により70歳までは契約を更新することが可能である。さらに特別の場合は、70歳以降の契約も可能である。完成後も、当面はこの規程で運用していくことになるが、教育の持続性、管理運営等に支障が生じないように計画することは、非常に重要であり、そのため学年進行中はもとより若手教員の育成や新規教員の採用などの計画を図る必要がある。</p> <p>具体的（教授8名に対して）には、基礎看護学分野の田村教授、寺岡教授の後任として当該分野の今井講師を育成するとともに、学外から教授又は准教授を採用する。藤村教授、富岡教授の後任として学内外から異動又は採用する。成人看護学分野の坪井教授の後任として当該分野の水内准教授を育成する。高齢者看護学分野の森川教授の後任として当該分野の小園講師を育成する。小児看護学分野の北川教授の後任として当該分野の出田講師及び田村講師を育成する。精神看護学分野の赤星教授の後任として原講師を育成する。</p> <p>いずれにしても、高齢教員に対する補充は、学年進行中より教授の補佐的な役割を与え、後継者としての自覚を養成するとともに、当該分野での教育・研究で研鑽を促すことを重要課題とする。場合によっては、学外から適任者を補充する。</p>	

		<p>定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時に退職しないように配慮しつつ）は、できるだけ若い教員で補充することとしたい。(26)</p>	
	<p>・ 臨地実習の事故発生時の対応方針について、実習施設側責任者と大学側責任者との連携がとられていないようにフローチャートからは見えるため、実習施設責任者及び大学側責任者の事故発生時の対応方針について連携体制の充実を図ることが望ましい。</p>	<p>改善意見</p> <p>・ 万一事故が発生した場合、学生は速やかに臨地実習指導教員及び実習施設責任者に報告し、その指示に従う。 臨地実習指導員及び実習施設責任者は、速やかに事故に対して対処する。 臨地実習指導教員は領域責任者(教授)に可及的速やかに報告し、指示を受ける。 領域責任者は、実習施設責任者と連絡をとり事故の分析を行い、事故の再発防止に向けて対応施策を図る。 また、領域責任者は必要に応じて、現地に赴き事故対応の指揮をとる。</p> <p>感染等の事故については、実習施設内管理システムに従って対処する。 大学には事故発生時の危機管理マニュアルが用意され、事故発生時の対応等の手順は整備されている。 危機管理委員長は学長であり、直接的に指導・指揮と必要な対処を行う。</p> <p>前述のとおり、事故発生時の対応方針(本学の危機管理規定に基づき)について、実習施設側責任者と大学側責任者(領域責任者)は定期的に連絡調整会議を開き協議を行い、連携体制の充実を図る。(26)</p>	

<p>改善状況等報告書 調査時 (27年2月)</p>	<p>薬学部薬学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>・平成23年度から、入学者のきめ細かい動向分析を行うとともに、広島県内・中国地方はもとより九州方面への広報強化を図るため入試広報部に専門職員を配置し、高等学校等へのPR活動実施している。 ・平成24年度から入学定員を見直し、130名から120名とした。 ・平成25年度入学者から特待生制度を導入し、受験生へのアピールを実施した。 ・平成26年度入試からは、前期一般入試日程を従来のAB日程(2日間)からABC日程(3日間)に変更するとともに、特待生制度枠を増枠し、志願者増を図った。 ・その結果、ここ最近の入学試験の志願者数は、平成23年度198名と比較すると倍以上の平成27年度482名となっており、順調に増えている。一方、直近3年間の入学者数は、平成25年度103名、平成26年度113名、平成27年度96名となった。 ・平均入学定員超過率は、平成23年度は0.49倍であったが、平成27年度の入試で96名が入学し0.70倍となった。 ・平成28年度入試からは、Web出願を導入し、利便性を向上させることで、志願者増を図る。</p>	<p>・今後は、従来の取り組みを継続強化していくとともに、平成25年度に第1期生が卒業したことに伴い、進級率、共用試験・国家試験の合格率、就職率等の実績を広報活動で広くアピールしていき、平成28年度入試からのWeb出願で利便性を向上させ、受験者数、入学者数のさらなる増員を図り、入学定員(120名)の確保に努めていきたい。</p>
	<p>看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>・設置時に専任教員(23名)のうち定年規程を超える者は8名であり、その割合は35%であった。なお、平成27年4月に5名(68歳、54歳、52歳、46歳、40歳)の教員を採用し、割合は37%となった。</p>	<p>今後は、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等(特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ)ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。</p>

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)
② 施設・設備 a 講義室〇室(〇㎡) b 自習室〇室(〇㎡) c 図書〇〇冊	② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。
該当なし	

- (注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成16年度「安田女子大学・安田女子短期大学FD委員会」を設置した。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 平成26年度 1回開催 (但し、学内グループウェアを使用した電子会議は随時開催) 第1回 平成26年5月1日(木)、参加者:23名</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業方法の改善について(授業アンケートの実施とそのフィードバック等) FD研修会について 補助金を利用した教育・研究体制等整備事業の活用について 学生調査について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法についての研究活動 ・ 授業評価アンケート、授業公開 ・ 新任教員のための研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会の開催 ・ アンケート調査等の実施 ・ オリエンテーションの実施 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度に合計4回のFD研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 新任教員向けFD研修会(開催日:平成26年6月19日(木)参加者:43名) 第2回 「英語で行う大学の授業」(開催日:平成26年7月3日(木)参加者:128名) 第3回 「アクティブラーニング」(開催日:平成26年7月17日(木)参加者:138名) 第4回 「学生の学習行動調査結果の分析と活用」(開催日:平成26年10月23日(木)参加者:146名) ・ 学期毎に学生への授業アンケートを実施。結果及び学科長による総評(フィードバック)は学内に公開(掲示)。

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・大学全体として、FD委員会で教員の資質向上の方策・改善について検討中
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - 前期および後期の授業終了時期（13～15回目の授業時）に原則として大学・短大に開講する全科目を対象に実施。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - 常勤教員は、翌学期開始前に担当科目の集計結果をWEBから閲覧。
 - 非常勤講師には、翌学期開始前に担当科目の結果を配付。
 - 学生には、各学科ごとの集計結果に学科長のコメントを付し、翌学期に学内に掲示。
 - c 研究科の授業評価アンケート
 - 研究科は教育・研究、院生の授業・研究の取り組み等について、自由記述を含めたアンケートを実施し、教育・研究の改善に努めている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域・社会の強い要望と期待に応えての設置は、非常に意義がある反面、責任と重みを痛感している。今後は、設置の趣旨・目的の達成のため、広い視野と豊かな人間性と倫理観を備え、かつ医療人として質の高い薬剤師の養成を目指して教育を行う。

一方、学生の定員管理を適正に行うための学生確保については、大学全体としてさらに努力する。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・平成22年4月12日 公表
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成21年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、大学基準に適合していると判定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有 無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27 年 6 月 10 日)